

「感ずべき御母」目に見えないものに向ける眼差し

校長 Sr.大山 江理子

今年も「感ずべき御母」の祝日が巡ってきます。「感ずべき御母」の絵には、聖心の教育の方針「魂・知性・実行力」が、3つのシンボル「百合の花、本、糸紬」によって描かれています。そして、聖母のまなざしには、祈りに向かう心や内面性の豊かさが表されています。祝日には、「目に見えないもの」を大切にすることを願って祈ります。では、目に見えない大切なものとはどのようなものなのでしょうか。

聖書の中のマリアの姿に、親として大事にしたい「目に見えない大切なもの」をみつけることができます。ルカによる福音書にだけ、イエスの誕生から少年時代までのマリアが描かれています。天使のお告げのとき、イエスの誕生のとき、そして12歳になったイエスが旅の帰路で迷子になったときの3つのエピソードです。そこでのマリアは、「戸惑い、考え込み」、「思い巡らし」、「心に納めていた」という特徴的なことばで書かれています。マリアにとってイエスの母となることは神から受けた、自分の思いをはるかに超えるものでした。この子の将来はどのようにになっていくのだろう、神さまは何を与えてくださるのだろう、そのような思いでイエスを育てながら、簡単にはわかり得ないことを心に抱えて、マリアは生きていきます。

12歳のイエスは親類一族とエルサレムの神殿に参詣しての帰り道で姿が見えなくなってしまう。両親であるマリアとヨゼフは3日間も探し回り、エルサレムに戻ってみると、イエスは神殿で大人たちに交じって神について話をしていたとあります。そこでマリアが注意すると、イエスは「父＝神の家にいるのは当たり前」と答えます。思春期を迎えた息子の生意気な答えにも聞こえます。これにマリアは驚き、心に納めておきます。

子育ては驚きに満ちています。どの子どもでも、思いがけない行動や言葉で親を驚かせることがあります。喜ばしい、受け入れやすい驚きもあれば、言いつけを聞かなかったり、親の思い通りにならない姿を見せたりという受け入れにくい驚きもあります。イエスの勝手な行動を良い・悪いという尺度で判断してしまうと、マリアはイエスを自分の考え方の枠組みに閉じ込めてしまうことになりそうです。しかし、マリアはイエスの行動に、目に見えること＝わかりやすいこと＝親の期待や考えを越える何かを感じ取っています。12歳のイエスは、親と離れても熱中できる何かを発見しています。今は、はっきりとは見えない、しかし、この子ども独自のものがここにあると感じ、イエスの心の内にあるものを大切にしているようです。目に見えない神の働きが、親子の日常の中に現れる一瞬をマリアは大切にしています。



10月の生活目標

廊下を静かに歩く

教会へ行こう！

教頭 中塩 百合



廊下に飾られた研究や工作などから、子どもたちの充実した夏休みの学びが伝わってきます。小学生の場合、子どもだけですべてを行うには困難なこともありますので、保護者の皆様のご理解とご協力あつてのことと感謝申し上げます。

さて、毎年3年生の教え(宗教)では、夏休みの自由課題として「カトリックの教会を訪ねる」ことを薦めています。教会は、イエス・キリストが天に召された後、弟子たちがイエスのことを人々に語り、イエスを信じる人々が集う場として生まれた共同体です。

子どもたちは1年生から、シスター、信者の先生とカトリックの教えについて学び、ミサに与り、日々祈りを大切に学校生活をおくっています。しかし、実際教会に足を運んだことのある児童は各クラス半数ほどです。イエスの生涯を福音書を中心に学び、「イエス様と仲間になろう」をテーマとする3年生に、教会という場に関心をもち、イエス・キリストを更に身近に感じてくれることを願って課題としています。

先日、各自が調べた教会について、ポスターセッションをする機会を設けました。メモを持たずに説明し質問に堂々と答える姿には、「私の教会」への誇りと親しみが溢れており、また聞く側も、教会それぞれの工夫や努力、特別な思いがあることを知り、今後どの教会を訪ねようかと目を輝かせていました。児童の感想です。

- ・目黒教会の大きな十字架にびっくりしました。イエス様のみ心が、どれだけこめられているのだろうと思いました。
- ・ひとつひとつの教会に、ちがう大切なものがあることがすごいと思いました。
- ・自分が調べたことが、人の役に立つとは思わなかったのうれしかったです。

信者でない者が教会へ足を運ぶのはなかなか勇気のいることです。しかし、教会は常に開かれた場です。どの教会でも子どもたちは温かく迎えられ、新たな学びを得、神と心を繋ぐことができたようです。喜びの時、苦しみの時、迷いの時・・・イエス様の元に集いましょう。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。

休ませてあげよう」(マタイによる福音書11章28節)



◎5年ばら組担任の深澤先生がご結婚されました。お名前が東城朋美先生に変わります。

10月の行事

- | | | | |
|--------|--------------|--------|-----------------------|
| 1日(月) | 都民の日 | 11日(木) | 下校グループの集まり |
| 4日(木) | 前期終業式 | 15日(月) | 1年・転入・編入生保護者会 |
| 5日(金) | 秋休み | 16日(火) | 2nd 感ずべき御母の祝日行事朝礼 |
| | みこころ祭 | 17日(水) | 総長顧問来校 |
| 6日(土) | みこころ祭(一般公開日) | 18日(木) | 1st English Day(3～4限) |
| 8日(月) | 体育の日 | 19日(金) | 1st 感ずべき御母の祝日行事朝礼 |
| 9日(火) | 後期始業式、身体測定 | 24日(水) | 3年社会科見学 |
| | 3・4限平常授業 | | 6年保護者会 |
| | 昼食後、児童引き取り訓練 | 26日(金) | 保護者静修会 |
| 10日(水) | 1～3年お弁当会 | | 赤い羽根共同募金 |
| | | 31日(水) | 入試準備 3限まで授業 |